

キッズサッカーが子どもと家庭に及ぼす影響

西山 佳佑 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 松田 保

キーワード：キッズサッカー，家庭，子ども

1. 緒言

わが国の現代の家庭環境は親子間のコミュニケーション不足，地域のつながりの希薄化，父親なき社会といったものが問題とされている。日本サッカー協会では，JFA2005 年宣言で，サッカーを通して豊かなスポーツ文化を創造し，人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献するという理念を掲げている。キッズサッカーが子どもと家庭に及ぼす影響を調査し，現代の家庭が抱える問題を改善する効果があるのかを明らかにする。

2. 研究方法

滋賀県サッカー協会のサッカースクール，総合型地域スポーツクラブのサッカースクール，京都のサッカークラブでキッズサッカーを行っている小学生を子どもに持つ父親と母親にアンケート調査を行う。アンケートで得たデータと文献から，わが国の現代の家庭環境の問題に照らし合わせ，分析を行う。

3. 結果と考察

練習や試合の送迎，応援の際に子どもがコーチやチームメイトと接している姿は，親が子どもの社会性を認識する機会となることや，子どもがサッカーに熱中している姿を観ることは，家庭内では見えることの少ない，子どもの普段と違った一面を見る機会になる。キッズサッカーを通して子どもの成長を感じ，より関心を持つきっかけとなっている。キッズサッカーは保

護者同士が顔を合わせるコミュニケーションの場となっており，ほかの家庭との繋がりが作られていた。父親の育児参加のキッズサッカーによる影響は大きいものではなかったが，一部の父親にとっては育児参加のきっかけや，より深く子どもとかわるための方法として活用されている。

4. まとめ

キッズサッカーによって親が子どもの成長を実感する機会となり，子どもに関心を持つようになる傾向が見られた。サッカーを話題とした子どもに対する親の問いかけが生まれ，コミュニケーションが生まれる。キッズサッカーが保護者の交流の場となる傾向が見られた。子どもたちのサッカーをサポートするうえで，保護者間の協力は必要であり，サッカーの話題から他の家庭との情報交換や私生活における会話まで波及している。キッズサッカーによる父親の育児参加への影響はあまり見られなかった。しかし，一部の父親にとっては育児参加のきっかけや，より深く子どもとかわるための方法として活用されていた。本研究を今後の活動に繋げていく事で役立てていく。

【主な引用参考文献】

文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm

財団法人日本サッカー協会(2010)U12 指導指針 2010